

「なかよく、つながる」

校長 桑野 啓子

2022年度が始まり、桜の花びらや色とりどりのチューリップをながめながら、わくわくするような、ドキドキするような気持ちで新年度をスタートした彩都の丘学園です。日々少しずつ、あせらずに新しいことに慣れていけたらと思っています。昨年度の今ごろは、見通しのつかなさで心が震える4月でしたが、今年は入学式や始業式で子どもたちに話した「あいさつをしよう」を意識して、早速実践する多くの子どもたちの姿が見られてとても嬉しいです。そして早くも新緑の美しさを感じる5月になりました。ご家庭での検温を継続していただき、学園でも手洗いや消毒、適切にマスクを着用しながら、みんなでゆっくりと丁寧に、学園生活をはじめることができているありがたさをしみじみ感じています。

4月12日～15日に「なかよし行事（1～4年）」「つながり校区オリエンテーリング（5～8年）」を実施しました。「なかよし行事」では、クラスタイムでクラスの親睦を図り、1組たてわり班、2組たてわり班、と日替わりで、各班で4年生がリーダーシップを大いに発揮して、みんなで活動を楽しみました。「つながり行事」では、保護者、地域のみなさんの見守りをいただきました。地域自治会の方々が、スクランブル交差点でのガードマンさんの増員や、通行トラックの減便を要請してくださる等のご配慮をいただきました。大変ありがたかったです。7年生が開閉会式の進行を担当しました。そして8年リーダーのもと、たてわり班で安全に「つながり」を意識して校区を巡りました。（9年生は体育館でスポーツ交流を行いました。）そんなすべての子どもたちに差し入れも頂戴して、笑顔で「なかよく、つながる」スタートを切ることができました。

今年度1学期には数年ぶりの水泳授業の予定もあり、2学期には10月15日に運動会の予定で、今年は学園としての「彩都フェス」を実施することが叶いません。しかし知恵と工夫で、できることを見いだしながら、進んで参ります。制限なしの生活がいつ戻ってくるのかはわかりません。ストレスを感じる日々はまだ続くと思われませんが、5月も、互いにあいさつを交わしあい、みんなで前向きな気持ちで進んでいきたいです。わたしたち教職員は、保護者、地域のみなさんと「なかよく、つながる」意識をもって、子どもたちとのかけがえのない日々をみんなで大切にしていきたいです。引き続きのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。